

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひまわり作成日: 平成 29 年 9 月 8 日**目標達成計画書**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	併設事業所合同の夏祭りや餅つき大会に地域の方の参加はあるが、地域の行事や清掃活動等への参加が出来ていないので、今後の課題として取り組んでいく。	職員数が充足し、勤務体制が整備されてきたら、地域との交流を広げ、地域密着型グループホームとして、地域と相互協力関係を築き、行事に参加したり、介護相談や清掃活動を職員の頑張りやチームワークで取り組んでいく。	6ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	地域の方の参加はあるが、家族の参加が難しいので、家族が参加しやすい日時や、参加したくなる雰囲気のある会議になるように取り組んでいく。	会議のメンバーが固定化し、内容が画一化傾向にあるので、新しい参加委員を地域の有識者、知見者、薬剤師等から募り、家族の参加を得て、ホームの繁栄と、参加委員にとっても、知識や情報を得る大切な会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
3	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と若手の職員では、介護知識や技術に差があるので、内部の研修を強化し、現場でベテラン職員が、新人職員を指導し、同じレベルでサービスが出来るように努力していく。	職員の勤務体制や充足率が高まれば、外部の研修受講に職員を交代で派遣し、介護知識と技術を習得し、職員の意識の高揚に繋がる研修参加に取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。